

環境調査結果のお知らせ

平成27年7月29日午前、宇佐漁港周辺のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

採水サンプルを検鏡した結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で810cells/ml認められました。シャットネラ属とデイクチオカ・フィビュラは認められませんでした。

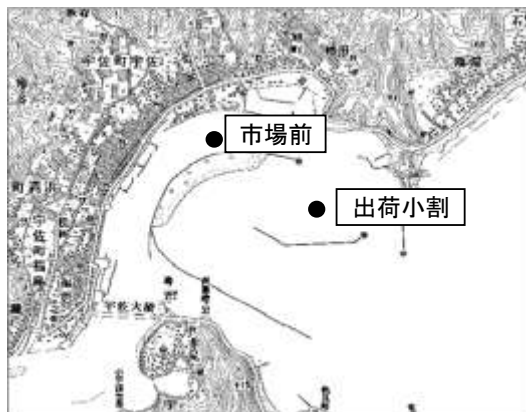
カレニア・ミキモトイについては被害が想定される細胞密度を上回っていました。

浦ノ内湾内は湾奥から湾口まで全体的に着色しています。さらにカレニア・ミキモトイは全ての観測点で細胞密度が被害の想定されるレベル、シャットネラ属は水試小割前以外の観測点で細胞密度が被害の想定されるレベルになっており、潮汐や風によって宇佐漁港周辺にも移動する可能性があります。

慎重な養殖管理をお願いします。

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	デイクチオカ・フィビュラ
市場前	0m	720	0	0
	2m	810	0	0
	5m	620	0	0
出荷小割	0m	1	0	0
	2m	0	0	0
	5m	38	0	0
(参考) 浦ノ内中学前	0m	7	1	0
	2m	2,800	150	0
	5m	15	99	11
(参考) 大鹿	0m	3	0	0
	2m	9,500	30	0
	5m	40	0	0
(参考) 水試小割前	0m	5	0	0
	2m	2,800	0	0
	5m	320	0	0



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ:
数百～5,000cells/ml(魚類などのへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・デイクチオカ・フィビュラ(魚類のへい死):
赤潮発生時